

ハーリー・ヘフト博士講演会 「ギブソンとバーカーのアプローチの統合」

CPD 申請中

これまで日本の建築学界では、ギブソンの生態学的視覚論や「アフォーダンス」の概念と、バーカーの生態学的アプローチや「Behavior Setting」の概念にそれぞれ異なる研究者グループから関心が寄せられてきた。ハーリー・ヘフト博士は「Ecological Psychology in Context: James Gibson, Roger Barker, and the Legacy of William James' Radical Empiricism (Erlbaum, 2001).」の著書のなかで、これらを統合する新たな理論的な柱を打ち立てた環境心理学者として高く評価されている。今回、本会の国際交流振興基金を受けて来日された同博士の理論に触れることは、新たな環境の捉え方として統合的なエコロジカルな視点を獲得することができる絶好の機会となる。(通訳付き)

主催 建築計画委員会 計画基礎運営委員会 環境行動研究小委員会

協力 人間・環境学会

日時 10月15日(月) 16:00~18:30

会場 建築会館3階会議室

- 内容
1. 主旨説明：大野隆造（東京工業大学）
 2. 「どのような心理学理論が生態学的と言えるのかーギブソンとバーカーのアプローチの統合」

(What Makes a Psychological Theory Ecological? Integrating Gibson's and Barker's Approaches) : ハーリー・ヘフト (デニソン大学)

3. 質疑・討論

定員 60名（申込先着順）

参加費 無料

申込方法 催し物名称, 氏名, 勤務先・所属, 電話番号, E-mail アドレスを明記のうえ E-mail でお申し込み下さい。(定員に達した場合のみお断りの方にご連絡いたします)

申込み・問合せ 日本建築学会事務局 森田

E-Mail: morita@aij.or.jp